

科目名	発達障害治療学実習				授業の種類	実習	講師名	
授業回数	23回	時間数	45時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科3年		必修・選択	必修

〔授業の目的・ねらい〕

発達障害領域における各疾患や障害を理解し、評価からプログラム立案ができるようになる。さらに実際の治療場面を見学し、体験をする。

〔授業全体の内容の概要〕

発達障害領域における各疾患における作業療法を学び、実際の症例で評価・プログラム立案・治療を行う。また、実際に発達障害を持った方に来ていただき評価から治療プログラムを体験する。

〔講師の実務経験〕

兵庫県内のじぎく療育センター、兵庫県立光風病院にて、小児作業療法、精神科作業療法に作業療法士として従事

〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕

発達障害領域の作業療法が理解できる。

回数	講義内容
1	二分脊椎に対するOT
2	筋ジストロフィーに対するOT
3	知的障害に対するOT①
4	知的障害に対するOT②
5	知的障害に対するOT③
6	広汎性発達障害・ADHD・学習障害に対するOT
7	発達障害の評価と治療の実際(モデル)①
8	発達障害の評価と治療の実際(モデル)②
9	発達障害の評価と治療の実際(モデル)③
10	フィードバック
11	フィードバック
12	脳性まひについて
13	脳性まひの治療
14	嚥下、食事介助方法
15	重症心身障害に対するOT
16	重症心身障害に対するOT、治療の実際のオリエンテーション
17	脳性まひ児の治療の実際(モデル)
18	脳性まひ児の治療の実際(モデル)
19	フィードバック
20	フィードバック
21	難病に対する作業療法
22	スヌーズレン・園芸療法
23	就労にむけて・発達障害児の保護者への支援
	定期筆記試験

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
イラストでわかる発達障害の作業療法	上杉雅之 監修／ 辛島千恵子 編著	医歯薬出版
作業療法評価学	(編)岩崎テル子	医学書院

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

定期試験にて評価する。